

広報

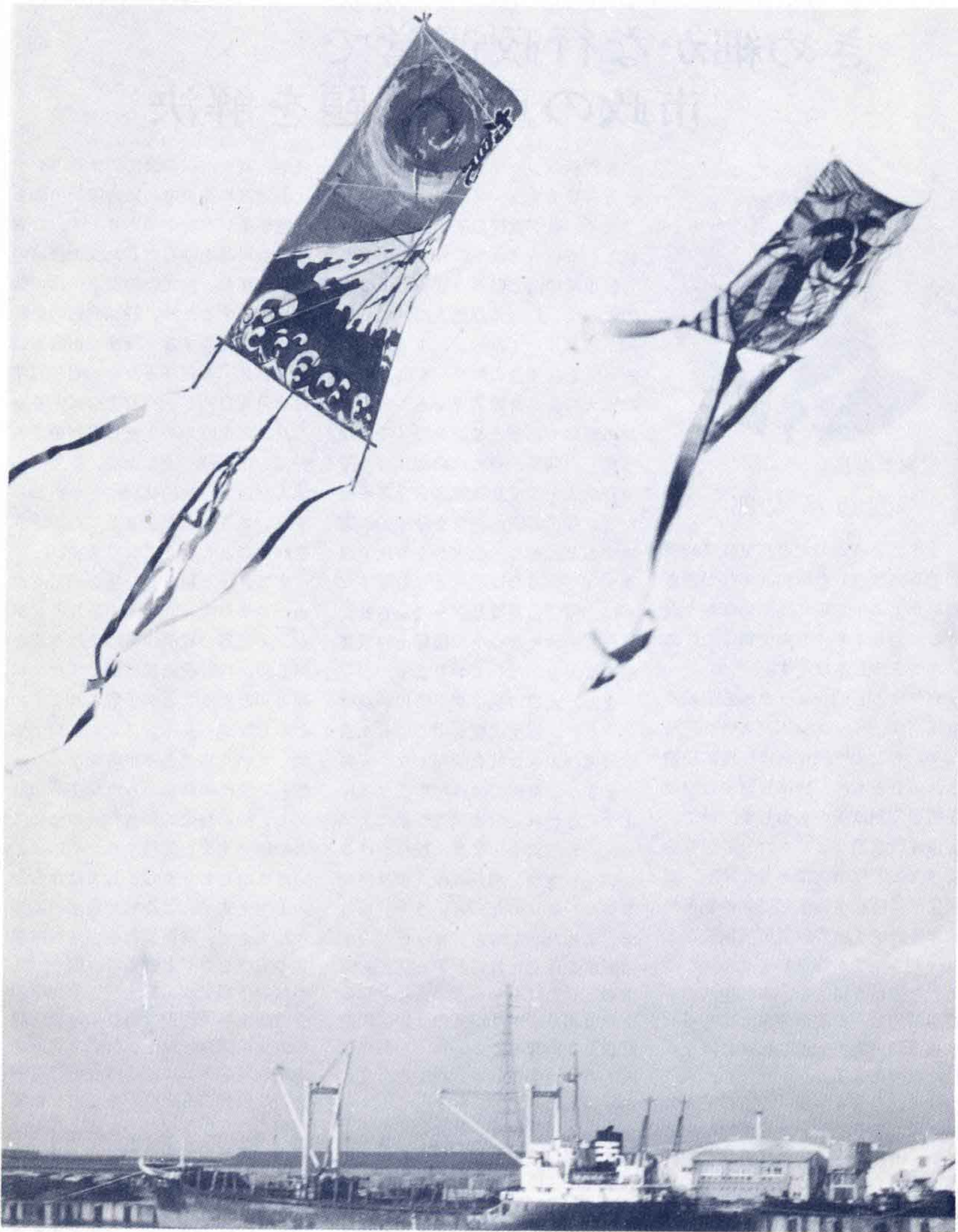
ふじ

新年号

50.1.1 発行

発行・富士市役所
富士市永田61-1

編集・
企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】



■人口 199,716人 (+295) 男 100,924人 (+86) 女 98,792人 (+209) 世帯 55,724 (+68) (12月1日現在)

あけましておめ

きめ細かな行政運営で 市政の重要課題を解決



富士市長

渡辺彦太郎

まさに公害問題など高度成長経済の矛盾に埋没した昭和40年代が過ぎ福祉充実の年、昭和50年の新春を迎えるに当たりまして謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、石油ショックから引続く物価高騰、インフレ不況という経済情勢のもとで市民生活は極度に圧迫されるとともに、建築資材や政府の総需要抑制政策のおおりに受けて、各種建設事業などはかなりの影響を受けたことは事実であります。市民生活に直結する生活防衛的施策や未来を託す子供の教育環境施設などは一刻も猶予が許されません。このような困難な時こそ、市民生活の不安を解消し、市民の要求に応えるべき積極的施策を推進しなければならないと考えます。

私は、過去5年間「都市の主人公は市民である」という基本的理念にたち、困難に遭遇すれば勇気を振りおこし、危機に臨めば身を挺してこれを克服する姿勢をもって市政運営に当たってまいりましたが、年改まるを契機に、過ぎし一年をふり返りつ

つ更に新らしい年への飛躍を期したいと存じます。

まず、私が就任以来市政執行の支柱としている老人や子どもを大切に、市民の命と健康を守るための施策として、ねたきり老人に対する巡回入浴車「いずみ号」による入浴サービスと医療費の無料化を60才以上に拡大し、心身障害児をもつ親の皆様の懸案であつた通園施設「そびな学園」の開園、更には精神障害者医療費助成と重度身体障害者介護手当など、福祉指向の施策を積極的に実施するとともに、公害から市民の健康を守り快適な環境をとりもどすために、環境監視機動隊を発足させ、市民と一体となつた環境保全啓蒙運動の展開をいたしております。

また、人口の集中や都市化の進行とともに、富士山麓を中心にした自然破壊が大きな社会問題となつておりますが、当市では専門学者などによつて行われた学術調査結果によつて、これら富士・愛鷹山麓におけるレジャー施設、別荘等の大規模開発事業は一切認めないという方針を打出しました。この方針は、市民の生命財産の保全を目的とする防災対策であることはもちろん、自然と緑の宝庫であり、かけがえのない国民的資産を守るためにも、富士南麓に位置する私達の当然の責務であろうと思ひます。

更に、学校教育、社会教育の面では幼稚園、小中学校の校舎の新・増改築をすすめるとともに、大自然の中で集団宿泊生活を通じて太陽のように明るい心身ともにたくましい子供を育てる少年自然の家が完成する

ほか、富士川緑地公園のオープンや大淵地区に建設中の総合運動公園も鋭意事業が進行中であります。なお生鮮食料品を中心とした流通機構の整備を図り、生産物の安定供給の体制を確立するため、約30億円の巨費を投じて建設する公設卸売市場も12月9日起工の運びとなり、昭和51年の3月を目指し、突貫工事に入りました。以上去年の主たる事務事業の一端を申し述べましたが、折りから地方財政の危機的状況にもかかわらず、いささか意とするところが達成されたことと考えております。

さて、いま新らしい年を迎えるにあたりまして、昨年来の悪性インフレ、不況等の経済情勢は更に一段と厳しく、行財政運営はかつてない試練の年となることが予想されます。しかしながら、インフレによつて拡大していく格差と不平等をなくし、激しい物価の高騰から市民生活を防衛し、特に社会的弱者救済のためにきめ細い施策を実行するためには、いささかもちゅうちょしてはならないと考えます。こうした基本的姿勢を踏まえて、現在進行中の各種諸事業の完成を急ぐとともに、国一バイパスの早期完成、富士・吉原海岸の浸蝕防止事業促進ならびに富士山麓の大規模開発の抑止、製紙スラッジの処理問題等には、市議会のご理解と、ご協賛のもとに、全精力を傾注してこれらの解決にあたるるとともに現在当市が策定中のシビルミニマムの達成を目標に、より一層の効率的行政運営を図り、市民参加の明るい住みよい郷土富士市の建設に邁進する決意であります。

でとうございいます

市の躍進は 市民、市当局、議会の三者一体で



富士市議会議長

中井 浜 次 郎

わたしども現議員の任期もあますところわずかとなりました。

顧みますと、この4年間、市議会においては「明るい住みよい豊かなまちづくり」をめざして、全力を傾注してまいりましたが、この期間こそ、富士市にとって重要な時期であったと考えます。即ち、社会経済の高度成長の進展により、住民をとりまく生活環境は悪化の一途をたどり社会資本の整備、社会福祉に対する住民の要求は益々高まり、財政需要は年ごとに増大し、加えて一昨年秋の石油危機に端を発した物価の高騰物不足という経済混乱に対しての国の打ち出した総需要抑制策は、地方自治体の計画事業の推進に厚い壁となり、財政運営上著しい支障となってあらわれてきたのであります。

このような社会経済の激動のなかにあつて幸いにもわが市が岳南地域の中核近代都市として整備されてきておりますことは、ひとえに市民各位の絶大なるご支援とご協力の賜と深く敬意を表する次第であります。

「分け登る麓の道は多けれど、同じ高嶺の月を見るかな。」思うに議員の目的は、この古歌のとおりでありま

しょう。

即ち、究極の目的は、市民の福祉を増進し豊かで住みよい生活環境をつくることにあると思つていただきます。

今や、この目標達成の事業計画は山積し、その遂行には、多くの困難な問題が累積されております。なかんづく、市の財政運営は、極めてきびしい環境下におかれていることを覚悟しなければなりません。

ここに議会として財政が合理化され能率をはかり、かつ倫理化された議決の肝要性を痛感いたす次第であります。

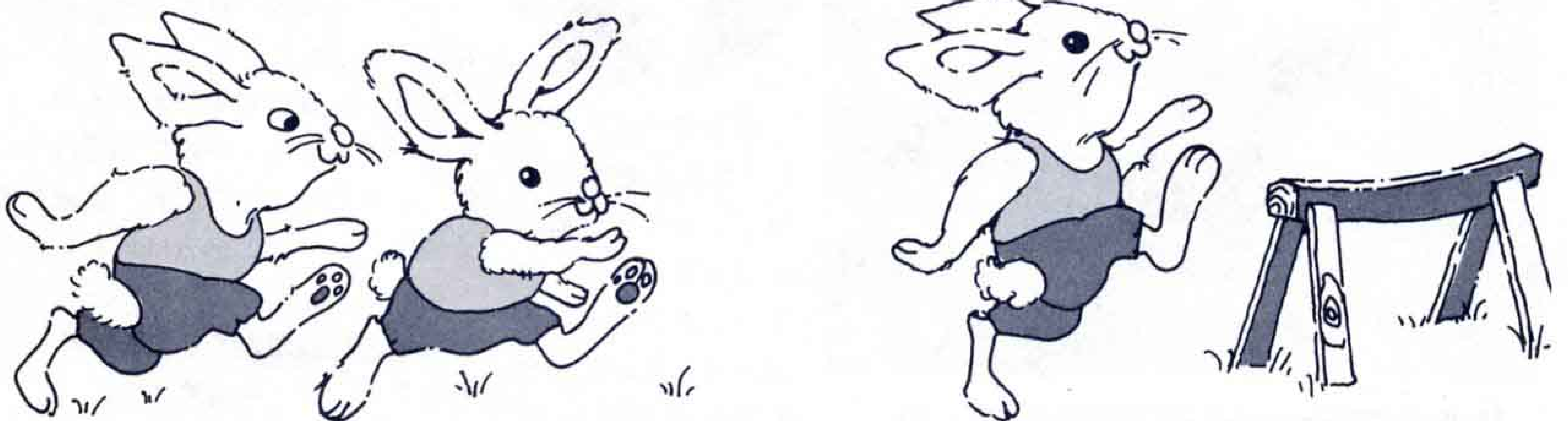
新春を迎えて市政諸般にわたつて反省と自覚をあらたにすることこそ年頭の覚悟であらねばならないと考えます。

議会と市当局があたかも車の両輪のごとく正和し市民参加に基づく、三者一体の共心協力をもって、本市の躍進発展を期すべきであると決意を新たにしておりますので、市民みなさまにおかれましては絶大なるご指導ご協力をお願い申し上げます。

終りに市民みなさまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ年頭のあいさつといたします。

市民のみなさん、あけましておめでとうございいます。昭和50年の輝かしい新春を迎えるにあたり、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

昭和46年4月統一地方選挙が行なわれてから、はや4年の歳月が流れ



あなたの意見を

市民のみなさんに市の仕事について気がついたことや感じたことを伺ったところ、道路、公害、物価問題など数多くありました。そこで、広報広聴課がみなさんによって渡辺市長に質問したので

その質問と回答をお知らせいたします。なお、ここに紹介するのは、話しを伺った一部ですが、インタビューに協力していただき、まことにありがとうございました。



夜間や日曜日 専門に見てくれる病院

矢崎弓子さん (29才・富士見台4丁目)

富士見台団地に住んでいますが、近くに病院がないので、不便です。かかりつけの病院はちょっと遠くですが、いつも見てくれると思います。

以前、国久保に住んでいる時でし

たが、ケガをして近所の病院に行った所、診療時間が過ぎていたので見てもらえず、次から次へたらい回しにされ、4番目の病院でようやく手当てをしてもらいました。

子供の病気は、親が症状を見ても

具合がわからないですね。急病だ急病だといってみんなが当直医院や夜間かかりつけの病院に行くと先生も大変だと思います。できれば

ば、夜間とか日曜日専門に見てくれる病院があつてもいいと思います。人間いつ病気やケガをするかわかりませんから、夜間や休日の医療体制の充実をはかつてください。



【牛歩作戦で国一バイパスの早期建設を訴える】

1日も早く 国一バイパスの建設



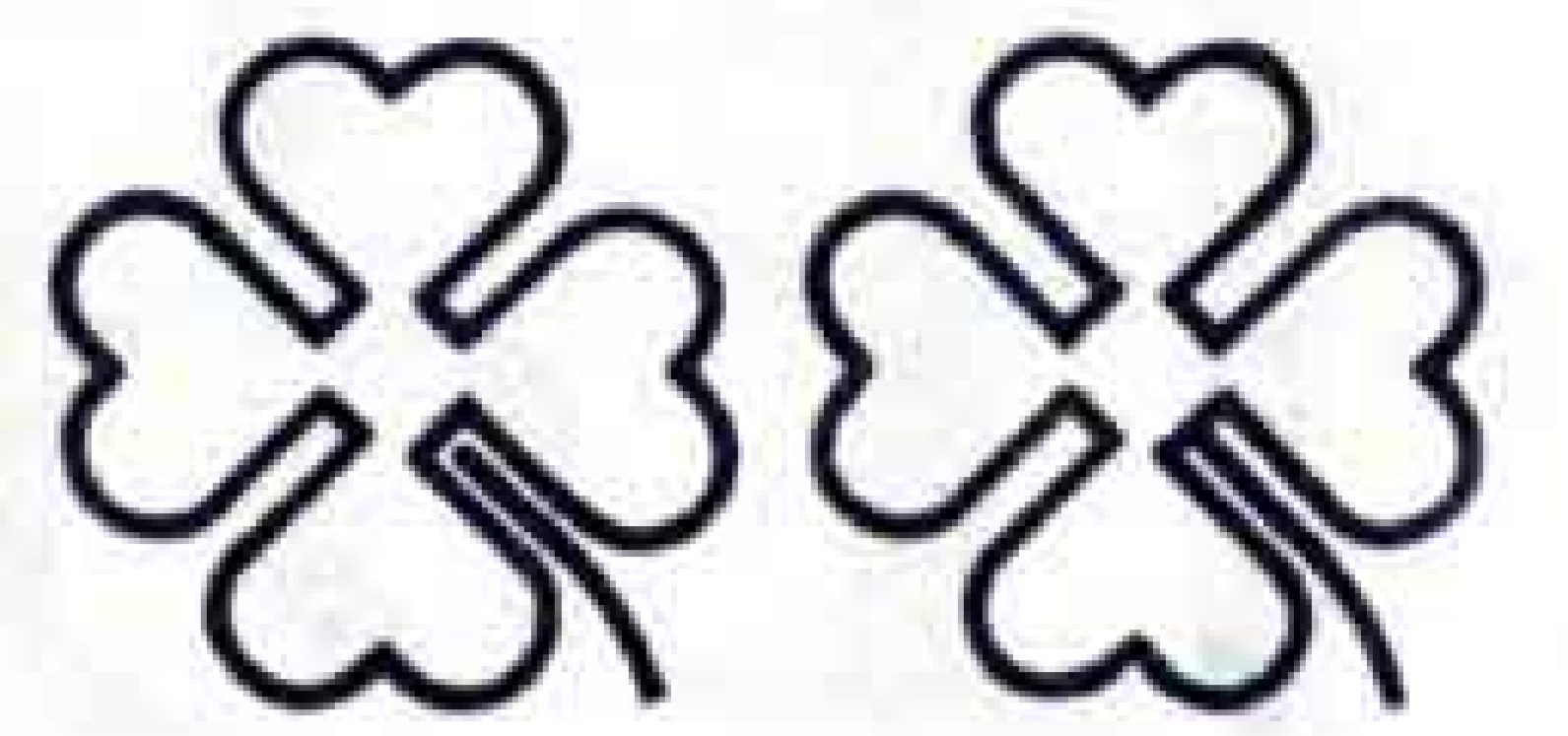
鈴木勝さん (58才・中柏原)

スができるれば、富士市に関係ない車は全部そつちを通るようになると思うから、今の国一はガラガラになるね。運転手だつて安心して走ることができるから交通事故も減るね。

国一のバイパスを1日も早く建設してほしいね。1日に何台の自動車を通るか分からないけど、交通事故も多いし騒音もひどいよ。バイパ

この間もバイパスの早期建設を訴え、牛歩作戦をやつてね。朝晩やる予定だつたけど、夕方は危ないから中止したよ。けどこれから様子を見て、建設が遅れるようなら何回も牛歩作戦などを進めていくよ。

市政に反映



価格協定の表示はもっと わかりやすく



飛竜礼子さん (37才・四丁河原)

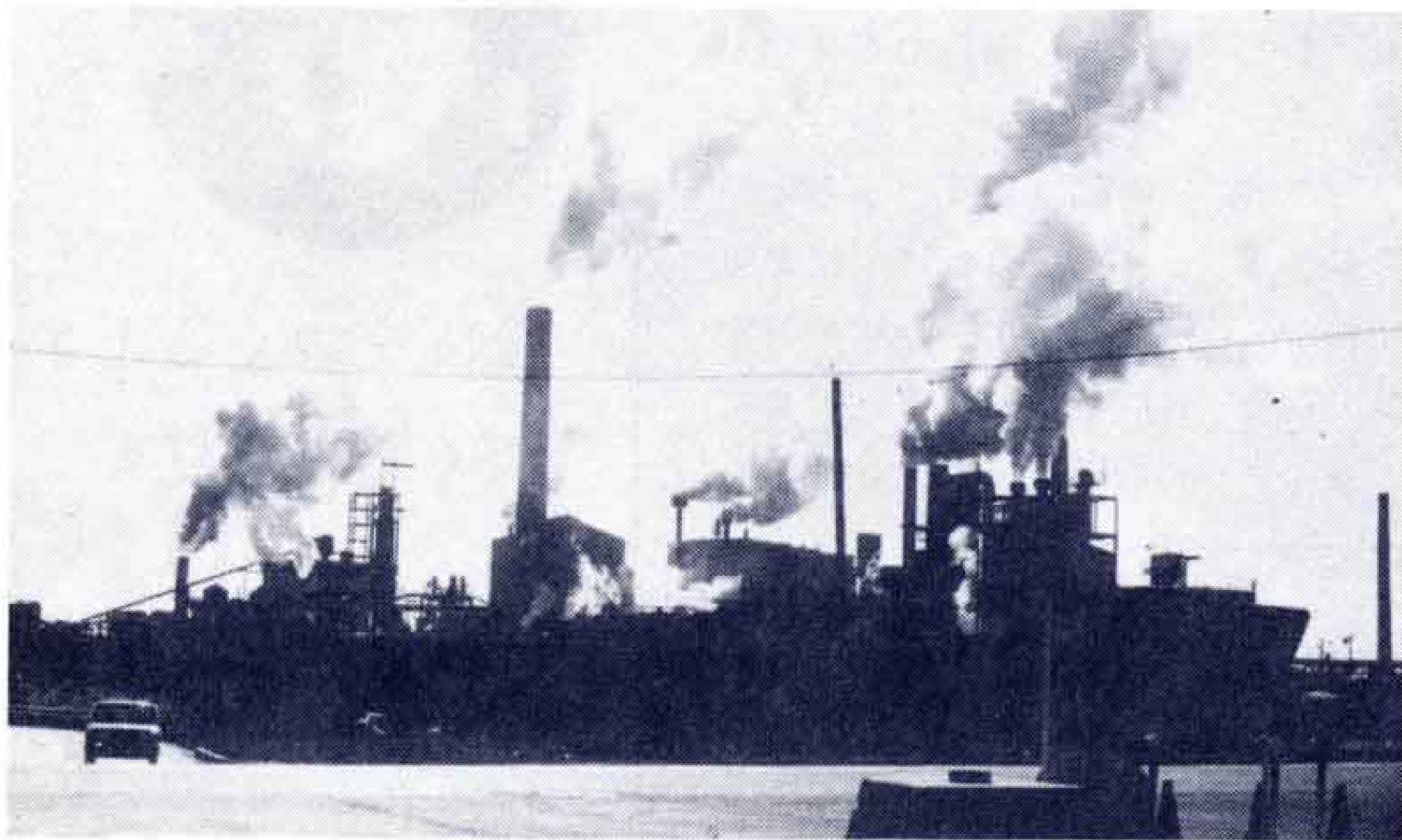
富士市消費者連絡協議会で価格協定をした

ことは全々知りませんでした。いまここに来て知ったばかりです。いつも買っているものが、随分安かったのできょうはビックリして買ったばかりなんです。

これからも続けてほしいですね。なかには買い物に来るたびにすこし

づつ値段が上がっているものもあります。長い目で見ると安くするといろよりも、せめて3カ月から半年ぐらい値段を上げないようにしてもらいたいですね。

価格協定を知らなかったのは勉強不足かも知れませんが、協定を結んだ商店に行けば、すぐにわかるような表示にしてほしいと思いますよ。今の表示では、回りの宣伝の方が目立っていますね。



公害をもっと厳しく 規制して

杉山啓吾 (52才・中比奈3)

大気汚染の関係かどうかよくわからないけれど、最近セキがひどく出てね。べつに風邪を引いているわけでもないんだが一。近所の子供も風邪を引きやすくなったなんていう話をよく聞くね。

この間もすぐ下の家で、稲荷さんを買っておいたら、1カ月もたたないうちに銅板の屋根がボツボツと青カビが出てきたそうだよ。調べているわけではないからよくわからないけど、こんなを見ると公害も前に比べて減ったとは思えないね。

市民の健康を守るためにも、市は公害をもっと厳しく規制してもらいたいね。

狭くなった勤労青少年会館



井出照憲さん (24才・久沢南)

勤労青少年会館を利用するよう

になって2年になりますが、友だちも増え、仕事にもハリがでてきました。最近、利用者も多く、ちょっと狭くなってしまいました。仲間は何

か行事を計画しても、ほとんどの部屋がふさがっていることもありますできれば体育館がほしいですね。

それから、広見小学校のグラウンドに夜間照明をつけてもらい、スポーツもできるようになったけれど、片面しかないの暗いですね。両方に

なんとかつけて、ソフトボールや野球の練習ぐらいできるようにしてほしいですよ。せっかくの施設ですから、

もっと有効につかえるようにしなければ。

会館の利用者は夜間がほとんどでバスで来る人も大勢いますが、バス停の所がちょっと暗いですね。犯罪防止ということからも街灯をつけてください。

住みよい街づくりは



伊藤忠行さん

(22才・船津)

北は東名、南は新幹線と両方からの騒音でまいるね。まあ新幹線の場合

ある程度の時間になれば止まるけど、東名は一晩中だからね。特にここは橋の所でつなぎ目があるからトラックが通ると音も大きいね。昼間でもこんなだから、夜はもっとすごいよ。

最近はなれて、多少の音ではビックリしないけれど、うるさくて、眠れない時もあったね。ノイローゼになってしまった年寄りもいたよ。たまに来た人なんか、ビックリして一睡もできなかり、病気の人はいそうだね。

なんとか橋ゲタのつなぎ目をなおして、防音装置などで静かにしてもらいたいね。ただスピードを落しての対策では、東名の価値がなくなってしまうよ。

橋ゲタのつなぎ目をなおして

価格協定は大型店だけでなく 小さな店とも結んで



鈴木喜久江さん

(45才・広見東本町)

価格協定は回覧板を見て知りましたが、1月10日まででなく、そのあとも続けてほしいですね。

同じ商品でも種類が多くありますから、その品物が安いからといって買うわけではありません。ひとつの目安にしています。でも主婦にとって、5円でも

10円でも安く買えることは、心の中まで明るく、あたたかくなったような感じになります。

物価高に対しては、近所の方も生協などを利用して対抗していますねできれば価格協定なども大きな店だけでなく、小さな店とも結んで、大勢の消費者のために役立ててください。



木内政志君
(富士第1小5年)

公園をつくるとき ぼくらの意見も

この公園ができる前は、文化センターやガレージなんかで遊んでいたから、できた時うれしかった。だけど遊び場がちょっとせまい。駐車場も公園になるといいな、池なんかもいい。

ぼくが公園をつくるなら、回りに木を植えて、中を広場にしてドッチボールやソフトボールができるようにする。広場も土や芝生にして、ころんでもケガをしないようにする。小さい子が遊ぶ公園は別に作り道具もすぐつぶれるからがんじょうにしないとおぶないよ。



佐野照茂さん(49才・今宮)

ハンドルを取られる
道路の段差
ほりかえしたら
後始末をしつかり

最近ここへ引越して来たばかりだけど、空気はきれいだし環境はいい所だよ。前に住んでいた所が、公害がひどかったせいもあるかな。

道路工事でひとつ気になっていることがあるんだ。それは工事をしたあと、舗装をもとどおりにすることだね。吉原から今宮まで来る途中、電話線の埋管工事をしているけど、工事が終わったあとほりかえした所に段差ができて、乗用車でもハンドルを取られることがあるよ。雨の日など特にそうだね。狭い道路だからよけるわけにもいかないから、後始末だけはしっかりやってください。

市民みなさんとともに

渡辺市長の回答

【問】公園の建設に子供の意見も

市長／市内には児童公園や都市公園、町内の公園など約160カ所ほどあります。これまでも公園をつくる時は、地元の人達と相談をしてきましたが、利用される公園にするには、やはり利用者の声も聞くことだね。特に子供達の――。近所の子供を集めて、どんな公園にしたらよいか意見を聞くそれを参考にすればいいね。

【問】国一バイパスの早期建設を

市長／通過交通車輛対策は、当然考えなければなりませんね。市内に用事がない車はバイパスなどを通つてもらふような、交通システムをつくる。国一バイパス、139号線バイパスを建設するのもそのためです。

国一バイパスの建設では、私自身も一生懸命



【問】公害をもっと厳しく監視して

市長／富士市は国に先がけた公害行政を行つています。503計画もそのひとつといえます。モクセイも咲き梅の実もよく付くようになりました。植物は公害に敏感ですから、空気もしだいにきれいになってきたことは確かです。

しかし、汚染が少なくなつてきたからといつても、長い間にわたると人間のからだに悪い影響をおよぼします。このような意味からも、さらに公害を厳しく監視して、すくなく

とも公害によつて健康をおかされない状態に1日も早くしていきます。

【問】勤労青少年会館の体育館建設 運動場の夜間照明施設などについて

市長／勤労青少年会館が狭くなつたので、体育館の建設をしてほしいという要望は聞いています。必要なこともわかつていますが、今の所、小中学校の体育館整備が先になつていきます。運動場の夜間照明施設もまだ設置する所がたくさんあるので、いまは経費、管理の面からもバレーボ

中央と折衝しています。なんとしても、1日も早く国一バイパスを通したいと思います。

【問】救急医療体制の拡充を

市長／救急医療問題は、人間の生命に直接関係することですから、大変重要な問題です。

富士見台団地の中にもどうしても医療機関を設置しなければなりません。夜間と休日の専門医を設けるのは現在の医療体制では無理と思います。当面、今行つている救急体制をどう充実していくかということになります。

【問】東名の騒音対策を

市長／東名高速道路の騒音がこんなにひどいとは、建設する時点ではほんとにわからなかつた。東名沿線の住民のみなさんが、困っていることは充分承知しています。騒音防止のための施策をなんとしてもやつていかなければならない。

船津付近は市内でも特に悪いので今まで公団側とも話し合つてきましたが、なお一層強く申し入れます。

【問】価格協定を長く続けて

市長／今回の価格協定は、消費者団体、特に各婦人団体が非常に力を入れてくれたので、大きな成果があがつている。市民が行動に移してくれたので、私もたいへんうれしかつた。これからも、消費者の人達との相談の中で、できる限りのことを積極的に進めていきたい。

ールや体操などができる程度になつていきます。バス停の照明は、大至急検討して考えます。

【問】道路工事の後始末について

市長／工事の後始末をしつかりやることは当然だし、ほんとに重要なことです。事故が起こつてからでは手遅れですからね。1度ほりおこした所は、しつかり埋めて舗装をしても段差ができるようです。ほんとに困つたことですから、総点検を行い、悪い所はどんどん直していきます。

富士市の総面積の約3分の2は、標高200m以上の富士・愛鷹山麓地域になります。豊富な緑におおわれた山麓地域は、私達にとってかけがえのない唯一の自然地帯といえます。この自然を守り育てていくために今すぐにでも行わな

ければならない問題のひとつとして、林業経営の近代化があげられます。市も林業関係者と一体になってこの問題に取り組んでまいりますが、市の考えている林業の育成、保護などを現況を見ながらお知らせいたします。

自然保護が叫ばれている中で

林業経営の近代化に“協議会”づくり

1ヘクタールの森林で 52万円の公益性

森林の果す役割は、木材生産をはじめ、水源を守るはたらき、大雨の時に土砂の流出や、土砂くずれを防ぎ、酸素を供給して大気をきれいにし、野生の動物を守り、人々にレクリエーションの場所を提供する等のはたらきがあります。

これらを昭和47年度に林野庁がわかりやすく金額により表したところ1年間に1ヘクタールの森林で52万円の公益性が認められています。これを市内の森林面積を1万ヘクタールとすると52億円にものぼります。この数字を見てもいかに森林が大切なものか、おわかりになると思います。

しかし、木材生産面で見ると、林業は割りに合わないと言われます。

たとえば、40年生のひのき1ヘクタールを伐採した場合、普通の状態で664万3000円です。ところが生産経費は、手間賃、下刈代、伐採代などを含め最小限の造林施業として、年利7分で計算すると799万円となり、134万7000円の赤字となってしまいます。

これでは林業に見切りをつけて、土地を手放してしまう人も当然出てきます。ひいては大企業の土地買占めとなり、大規模開発の原因にもなります。

そこで、採算のとれる林業、もうかる林業への発想の転換が必要です。それには、間伐材の有効的な活用、特種林産物の生産、林道網の整備、林業労働力の組織化などによる経営の合理化が考えられます。しかし、林業を取りまく現況は、生産の長期性、労働力の不足、零細な生産規模、外材攻勢など楽観はできません。今

こそ、強力な行政のテコ入れが要求される時だと思えます。

また、市内の林業家が、林業に希望を持ち、健全な経営が営まれる時こそ、山麓の緑は安泰であるといえます。

そこで、林業にたずさわる市内の林業労働者

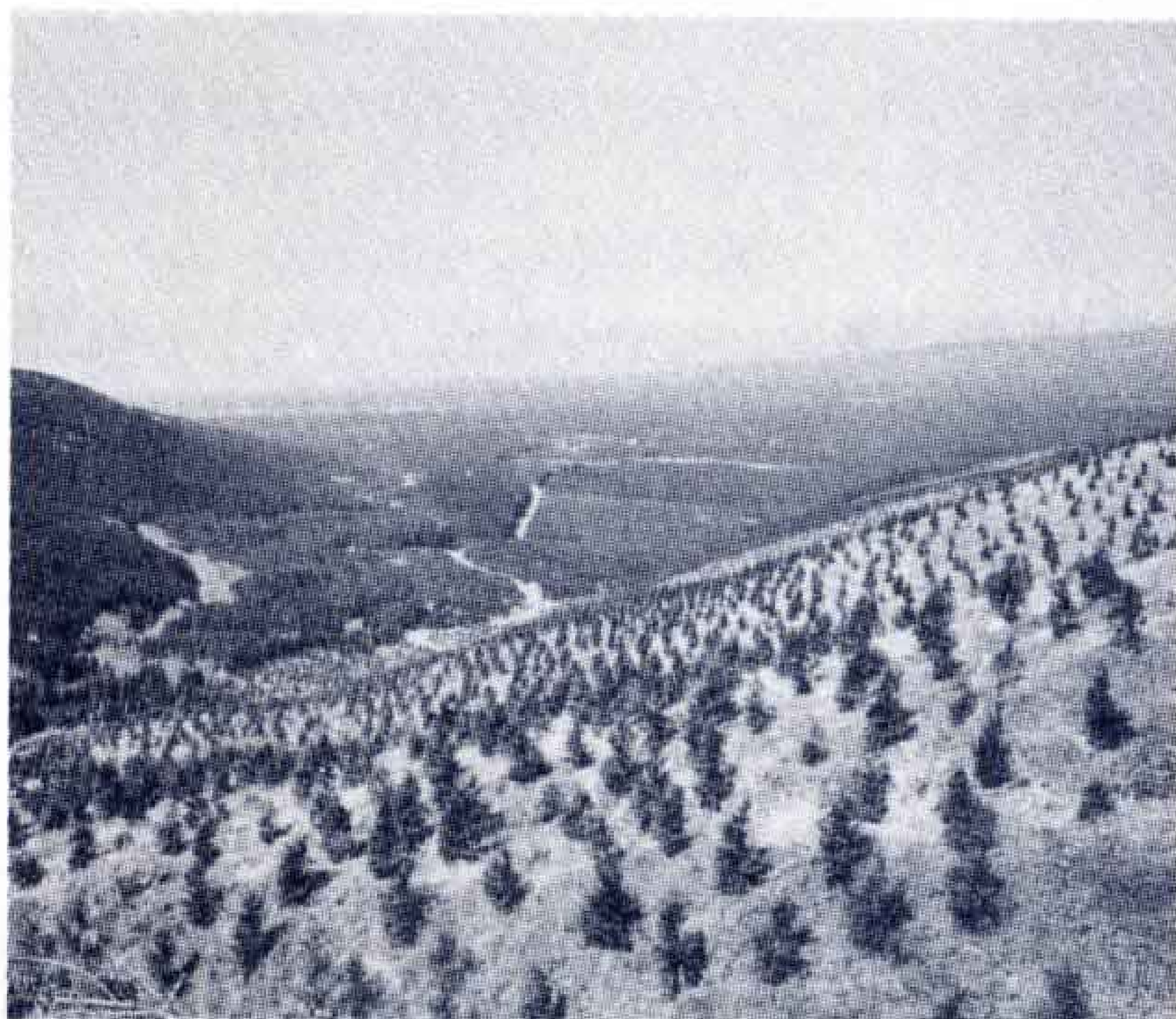
木材業者、種苗業者、林業研究会員、林野消防隊員などを組織化し、林業振興協議会的なものを発足させ、林業振興の推進母体づくりをすすめる計画です。この協議会の中で、次のような活動を行い、林業経営に対する夢と情熱を喚起します。

私有林の経営指導を積極的に実施

- **経営研究班**をつくり中間所得の増加をはかるため、間伐事業の推進、特種林産物の栽培、優良材生産技術の向上のため学習林の造成などを実施する。
- **労働班**をつくり人手不足を解消するため、林業労働者の雇用、労働の円滑化をはかり、将来、林業の委託経営実行の時の受託組織づくりをする。
- **防災班**をつくり、林野火災の予防、盗林、盗石の防止と森林保護思想の啓蒙につとめる。
- **環境班**をつくり野生鳥獣の保護増殖と有害鳥獣の駆除を行う。

このほか、造林、保育補助金の制度を新設し、森林資源を保続していく人達に援助をし、さらに積極的に私有林の経営指導を実施します。

いずれにしても、明日の林業を考えると1日も早く実現していかなければなりませんので、林業関係者と協議しながら、積極的に取り組んでまいります。





【二度の入浴時間は健康を考えて五〜八分】

おばあちゃんお湯かげんは

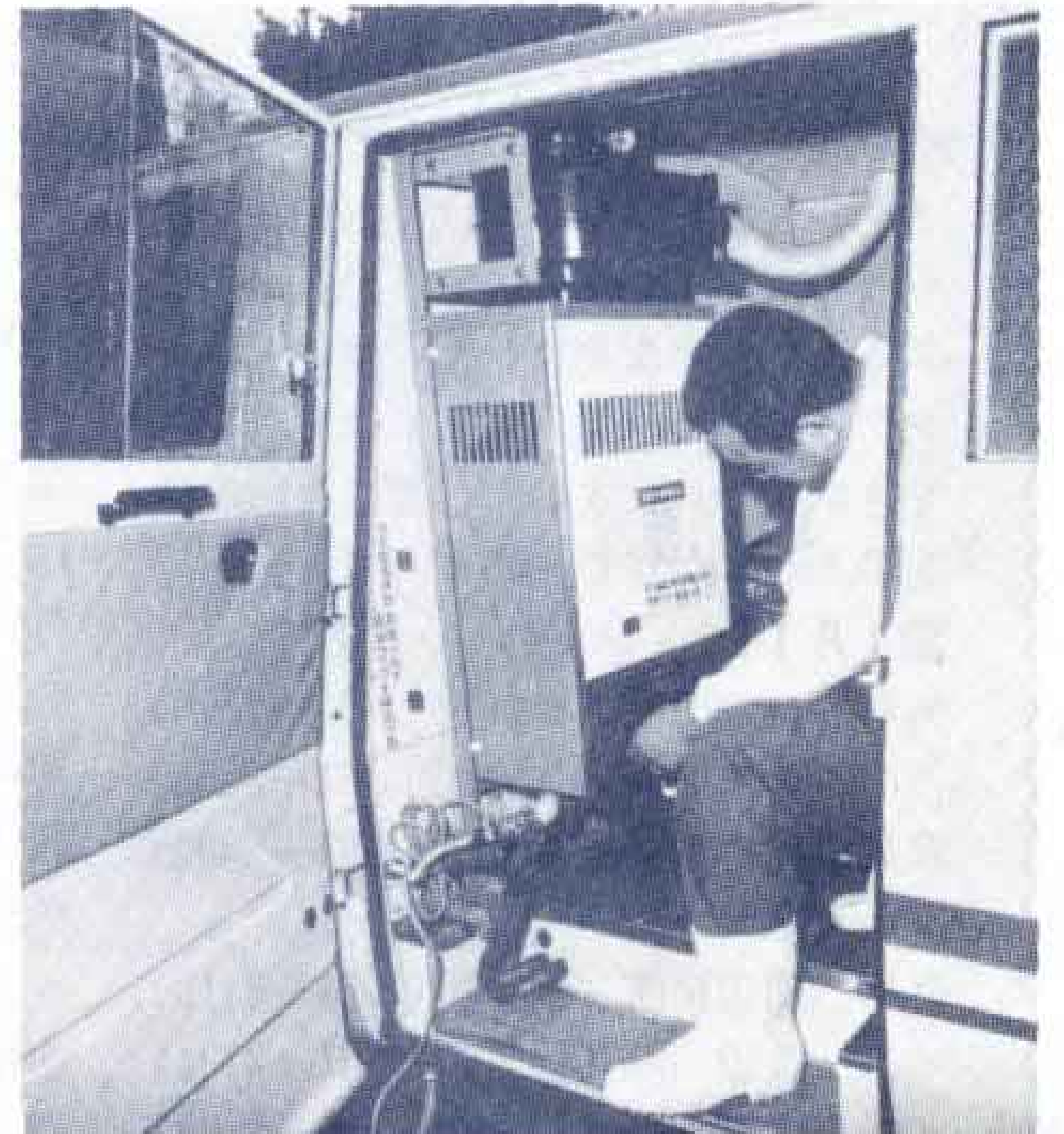
お風呂へ入るのは今日で3回目だけど、ほんとに待ちどおしかつたよーとニコニコ話してくれたのは浅井ときさん(81才・柏原2)。浅井さんは8年間も寝たきりで、お風呂に入るのがなによりの楽しみとなつているそうです。

市が巡回入浴車「いずみ号」で入浴サービスを始めたのは昨年10月から、寝たきりのお年寄

りがいるお宅に伺い、まくら元でお風呂に入つていただいています。入浴前には保健婦が血圧や脈はく、体温などを調べ事故のないように注意しています。なお、現在入浴しているお年寄りは19人ですが、入浴を希望する方は福祉事務所福祉課にある申請書と医師の診断書を添えて、福祉事務所長宛に申込んでください



【入浴前に血圧や脈はくなどの健康診査】



【車から浴槽を家の中に運び入れ、車の中でお湯を沸かし給湯する】

親子そろって交通安全勉強

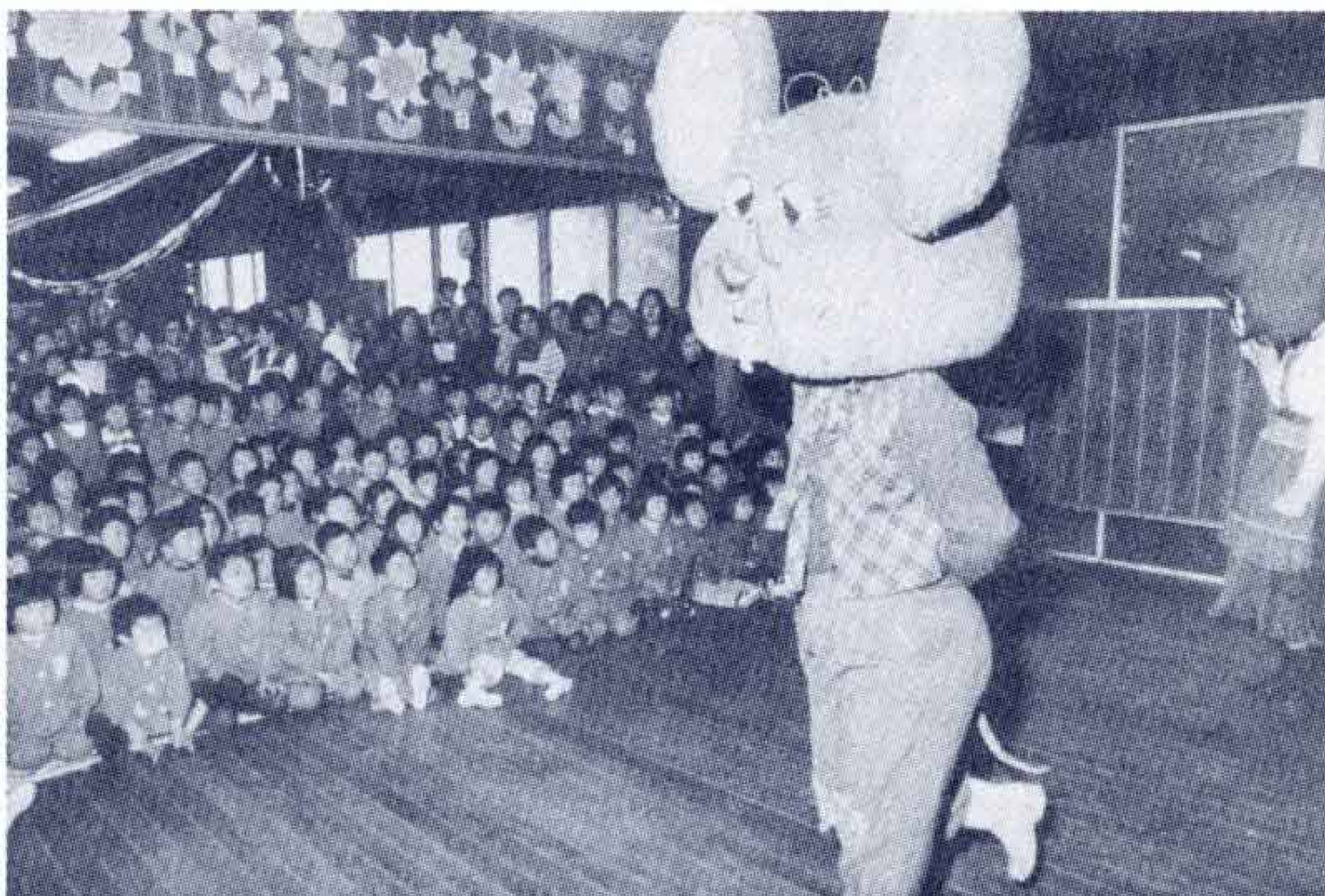
市内で10月までに発生した幼児の交通事故は106件、このうち幼稚園児2人が死亡しています。これらの事故は、急なとび出し、車の直前、直後の横断、ひとり歩き、路上で遊んでいた時に起っています。言い換えれば、幼児の交通事故のほとんどが親の不注意によって起るとも言えます。このようなことから、幼児の交通安全教育は、子供だけでなく、親と子がそろって行うことが必要となっています。

そこで、保育園児とその親に、遊びながら交通ルールを覚えていただくとうと、交通安全クラブの結成を呼びかけました。この結果、鷹岡と南保育園で結成するはこびとなり、12月10と12日に結成式を行いました。クラブの名称も、子供達にしたいまれている動物の名前をとって、「りすさんくらぶ」にしました。

りすさんくらぶの結成式には、園児の母親が全員集まり、まず第1回

目の勉強会を開きました。婦人交通指導員と親子そろって、3本指のやくそく「①かならず②とまって③みぎひだり」をした後、人形劇で事故の恐しさを訴え、幼児も真剣に学習しました。なお、これから毎月、親子そろって交通安全の勉強をし、事故防止をはかります。

子供さんのいるご家庭では、交通事故がなにより心配かと思えます。楽しい家庭をきずくためにも、家族ぐるみで正しい交通ルールを身につけてください。なお、ドライバーの皆さんも、無暴な運転は絶対しないことを誓って、交通事故のない明るい富士市を築きましょう。



【婦交さんの人形劇で正しい交通ルールを勉強する鷹岡保育園児とお母さん】

1月の

当直

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなのでみてくださると、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

■1月1日

外科 松本医院(久沢東 71-2570)
中央病院(本市場 61-8800)
産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

■1月2日

外科 田辺医院(本市場 61-8410)
渡辺病院(錦町1 51-3751)
産婦人科 吉見医院(吉原4 52-2399)

■1月3日

外科 清河医院(広見6 52-6212)
吉原病院(南町 52-0780)
産婦人科 谷医院(八幡町 61-0039)

■1月5日

外科 藤井医院(松岡 61-7811)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 武田医院(西宮島63-5122)

■1月12日

外科 川村医院(富士中島 61-4050)
芦川病院(中央町2 52-2480)
産婦人科 鈴木医院(今泉1 52-1712)

■1月15日

外科 快明堂医院(中央町1 51-0310)
吉原病院(南町 52-0780)
産婦人科 遠藤医院(吉原3 52-1941)

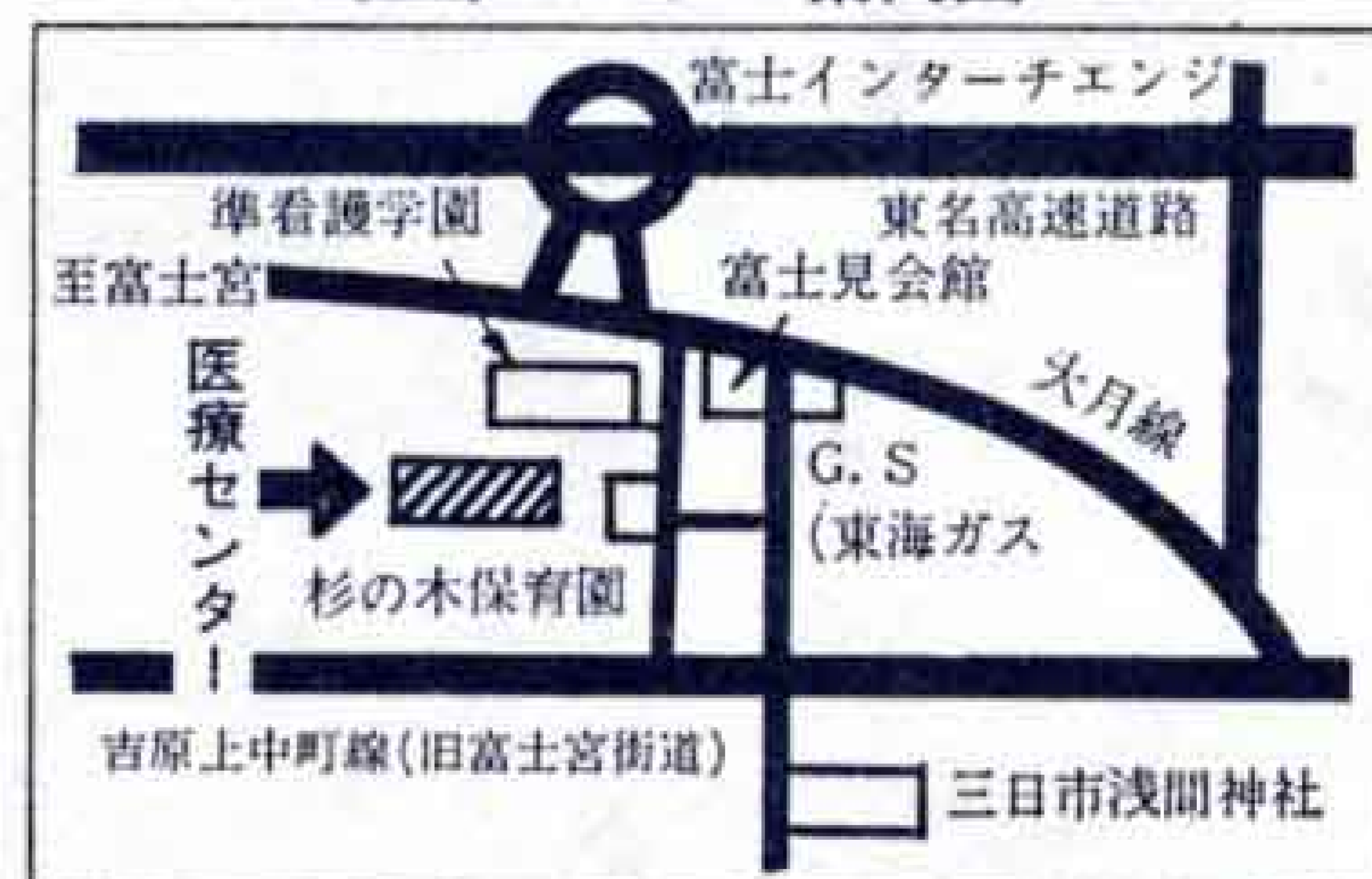
■1月19日

外科 中央病院(本市場 61-8800)
吉田医院(石坂 51-2515)
産婦人科 池谷医院
(水戸島本町 61-0873)

■1月26日

外科 宮下医院(平垣 61-0376)
渡辺病院(錦町1 51-3751)
産婦人科 中央病院(本市場61-8800)
※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祝祭日以外は行っておりません。

医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。



70チームが参加して 第7回富士駅伝競走大会

第7回富士駅伝競走大会を12月8日、富士見台団地で行いました。中学・高校・一般の部に70チームが参加して脚力を競いました。なお、各部の優勝チームは次のとおりです。

- 中学校の部 鷹岡中学校
(1時間21分13秒)
- 高校の部 橋高校(静岡市)
(1時間19分58秒)
- 一般の部 東洋レーヨン三島
(1時間12分43秒)

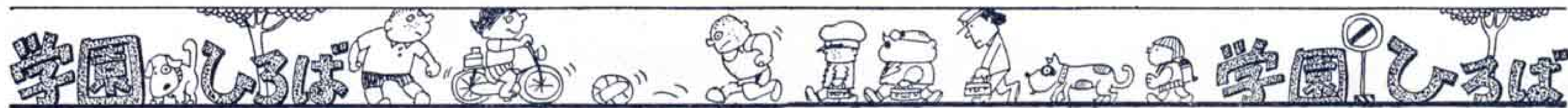
公設地方卸売市場の建設に着手

台所と生産者を結ぶ公設地方卸売市場の起工式を12月9日、田島地先の建設地で行いました。この市場は富士・富士宮・富士川にある既存の市場を整備統合して、大型化するもので、事業費約30億円をかけて昭和51年4月開設をめどに工事を進めていきます。なお今年度は、卸売場や管理事務所、構内舗装などを行います。



手づくりのしめ飾でお正月を

既製品ばやりの昨今、正月のしめ飾りは自分でつくったものをしようと、富士高令者学級では12月14日富士公民館で、おかげで講習会を開きました。講習会には50人が参加し、村松純夫さん(宮島)の指導で、輪飾りや内飾り、ごぼうなどをつくりました。参加者のほとんどがしめ飾りづくりは初めてとあっと、なかなか思うように形ができず苦労していました。



あけまして おめでとうございます



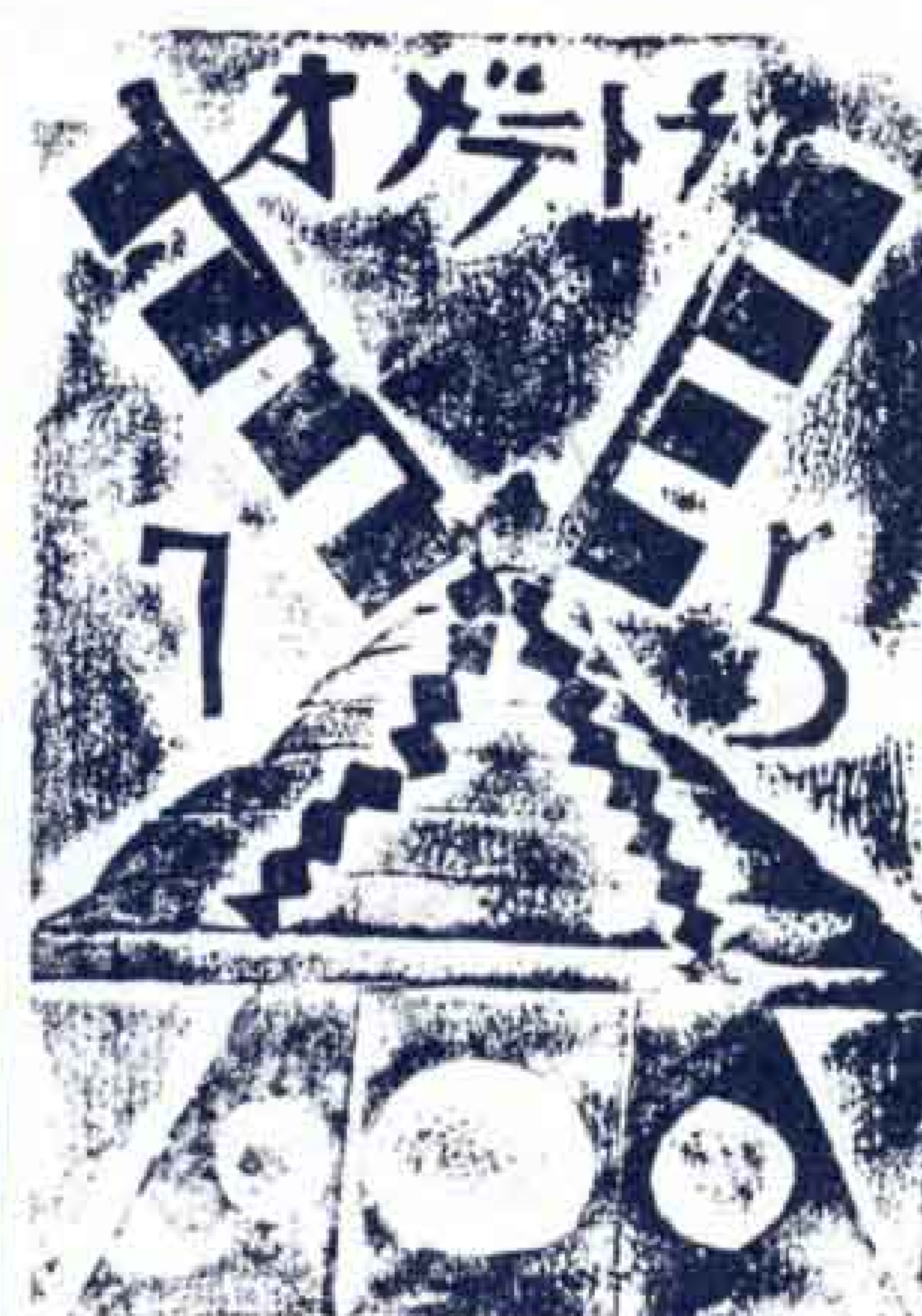
神戸小学校3年
杉山 均君



今泉小学校6年
毛利日出美さん



今泉小学校6年
佐野博美さん



神戸小学校3年
渡辺徳久君



吉永2小でサイエンスカー教室

動く科学館と呼ばれているサイエンスカーが、12月3日、吉永第2小学校に来ました。サイエンスカーは、県教育委員会が理科の実験機械を自動車に積んで県内の小学校を回っています

吉永2小では、1~2年生が磁石の性質と双眼顕微鏡、3~4年

生は空気と水、磁石の性質、5~6年生は音の性質、光の性質をお母さん達といっしょに勉強しました。

【写真は双眼顕微鏡を使って、植物や昆虫を観察する1、2年生とお母さん】



ふじやま学園で 楽しいモチつき大会

市内のお米屋さんのお兄さん達30人が、12月8日、ふじやま学園をおとずれて、みんなで楽しいモチつき大会を行いました。ふかしたモチ米をウスに入れてペタンコペタンコとつくると真白いおモチができあがり、さっそく鏡モチや大福モチにしてくれました。できたてのおモチをお昼にみんなで食べて、一足早いお正月をあじわいました。